



三島 淑臣教授近影

## 略 歴

### 三島 淑臣 (みしま よしおみ) 教授

- 1932年10月 愛媛県越智郡玉川町に生まれる
- 1951年 3 月 愛媛県立今治西高校卒業
- 同 4 月 京都大学法学部入学
- 1956年 3 月 京都大学法学部卒業
- 同 4 月 京都大学大学院法学研究科修士課程入学
- 1958年 3 月 京都大学大学院法学研究科修士課程修了
- 同 4 月 京都大学大学院法学研究科博士課程入学
- 1961年 3 月 京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
- 同 5 月 九州大学法学部助手
- 1963年 4 月 九州大学法学部助教授
- 同 4 月 法理学講座分担 (1981年 5 月まで)
- 1976年 4 月 九州大学法学部教授
- 同 4 月 行政学講座担当 (1981年 5 月まで)
- 1981年 6 月 法理学講座担当 (1995年 5 月まで)
- 1985年 4 月 九州大学評議員 (1987年 3 月まで)
- 1987年 3 月 ドイツ連邦共和国へ出張 (同年 5 月まで)
- 1989年 4 月 九州大学評議員 (1991年 3 月まで)
- 同 11月 日本法哲学会理事長 (1993年11月まで)
- 1995年 6 月 法社会学講座担当 (1996年 3 月まで)
- 1996年 3 月 九州大学定年退官・九州大学名誉教授
- 同 4 月 熊本県立大学総合管理学部教授

## 著 作 目 録

### 著 書

- |       |                         |        |
|-------|-------------------------|--------|
| 1980年 | 『法思想史』                  | 青林書院新社 |
| 1993年 | 『新版 法思想史』               | 青林書院   |
| 1998年 | 『理性法思想の成立—カント法哲学とその周辺—』 | 成文堂    |

### 共編著

- |            |                                         |      |
|------------|-----------------------------------------|------|
| 1981～2001年 | 『法の理論』 1～21 (共編)                        | 成文堂  |
| 1989年      | 『法と国家の基礎に在るもの』 (水波朗教授退官記念) (共編著)        | 創文社  |
| 1990年      | 『法哲学綱要』 (共編著)                           | 青林書院 |
| 1973～76年   | 『R A D I X』 第6～8号 (編)                   | 創言社  |
| 1986年      | 『野の花空の鳥—滝沢先生の思い出—』 (編著)                 | 創言社  |
| 2000年      | 『人間の尊厳と現代法理論』 (ホセ・ヨンパルト教授古稀祝賀)<br>(共編著) | 成文堂  |
| 2002年      | 『法哲学入門』 (編著)                            | 成文堂  |

### 翻訳書

- |       |                                                |                   |
|-------|------------------------------------------------|-------------------|
| 1972年 | カント『人倫の形而上学<法論>』 (共訳)                          | 中央公論社 (世界の名著第39巻) |
| 1977年 | L・ゴールドマン『カントにおける人間・共同体・世界<br>—弁証法の歴史の研究—』 (共訳) | 木鐸社               |

### 論 文

- |          |                                                      |
|----------|------------------------------------------------------|
| 1961～62年 | カントにおける法と倫理(1)・(2)—近代法思想展開とその問題性—<br>法学論叢70巻3号、72巻6号 |
| 1964年    | 自然法の力動性—シュメルツの見解を中心として—<br>法哲学年報 (1963・下)            |

- 1966年 市民法原理の理念的展開(1)ーカント私法論の一考察ー  
法政研究33巻2号
- 1967年 自然法と法の歴史性の問題ー現代ドイツ自然法論の一考察ー  
法政研究33巻3－6合併号
- 1967年 法思想の系譜 法政学会編『新法学概論』有斐閣
- 1970年 現代自然法論の思想  
阿南成一編『法思想史講義』第5篇第4章 青林書院新社
- 1971年 実在主義と自然法  
ーW・マイホーファー『実存法としての自然法』をめぐってー  
(研究ノート) 法哲学年報(1970)
- 1971年 カントにおける抵抗権の問題  
季刊『近代思想史研究』I 西日本思想史研究会
- 1972年 自由と革命ーフィヒテ法・政治思想の形成をめぐるー考察ー  
法政研究38巻2－4合併号
- 1973年 ドイツ理想主義とフランス革命ーカントとフィヒテの場合ー  
竹原良文編『フランス革命と近代政治思想の転回』草薙書房
- 1973年 カントとフィヒテ 竹原良文編『近代政治思想』草薙書房
- 1974～75年 若きカントにおける人間と社会(上)・(下)  
ー理想法思想の成立史的研究・序説ー  
法政研究41巻1－2合併号、3号
- 1976年 市民社会における法と倫理  
ー思想史的視角からのアプローチー 法哲学年報(1975)
- 1976年 婚姻の人倫性と市民社会  
ーヘーゲルのカント婚姻論批判をめぐってー  
『法理学の諸問題』(加藤新平教授退官記念)有斐閣
- 1980年 プラトンの法思想についてー一つの覚え書きー  
法政研究46巻2－4合併号
- 1981年 近代法思想への基礎視座 『法の理論』1
- 1981年 法の近代的観念と古典的観念 『法学教室』第5号 有斐閣

- 1982年 法思想史にとって近代とは何かー今井弘道氏への手紙ー  
『法の理論』 2
- 1982年 自然法論 井上茂他編『講義 法哲学』第2章 青林書院
- 1983年 カント私法論についての再論(1)・(2完)  
法政研究49巻1ー3合併号、50巻1号
- 1984年 ヘーゲルと社会契約説ーイエナ期諸論稿を手がかりとしてー  
法哲学年報 (1983)
- 1985年 カントの刑罰理論(1) 法政研究51巻3ー4合併号
- 1985年 <自然法論>と法実証主義の彼方ーアルトゥール・カウフマンー  
大橋智之輔他編『現代の法思想』  
(天野和夫・矢崎光圀・八木鉄男先生還暦記念)
- 1986年 原秀男著『価値相対主義法哲学の研究』を読む  
『法の理論』 6
- 1987年 ヘーゲル法哲学における<自然法>問題(1)  
水波朗他編『自然法ー反省と展望』創文社
- 1989年 <抽象法>としての自然法  
ーヘーゲル「法哲学」における自然法問題(2)ー  
『法と国家の基礎に在るもの』
- 1990年 法と正義 『法哲学綱要』第7章
- 1990年 カントの法哲学ーその現代との関わりを中心にー  
廣松渉他編『講座ドイツ観念論』第2巻 弘文堂
- 1992年 近代の哲学的所有論ーロックとカントを中心にー  
法哲学年報 (1991)
- 1996年 後期カント政治理論における平和の問題  
日本カント協会編『カントと現代』晃洋書房
- 1998年 法哲学と法思想史とのほざまで  
ー九州大学を退官するにあたってー  
『法思想の伝統と現在』 (三島淑臣教授退官記念)  
九州大学出版会

- 2000年 ヨンパルト教授の人と仕事  
『人間の尊厳と現代法理論』（ホセ・ヨンパルト教授古稀祝賀）  
成文堂
- 2002年 法哲学とは何をする学問か  
三島淑臣編『法哲学入門』 成文堂

### 紹介・批評・その他

- 1964年 K・ラレンツ「裁判官の法創造のための指標」（紹介）  
法政研究30巻4－5合併号
- 1965年 ダントレーヴ「法に関する二つの問題」（1962年）（紹介）  
法政研究31巻3号
- 1966年 法の倫理性をめぐる諸問題  
－A・カウフマン『法と倫理』をめぐる－（紹介）  
法政研究33巻1号
- 1968年 原秀男『価値相対主義法哲学の研究』（書評）  
法政研究35巻2号
- 1969年 Legal philosophy in Japan (1967－8)（紹介）  
Japan Annual of Law and Politics, No. 17
- 1970年 法と倫理 『社会科学大事典』第17巻 鹿島出版会
- 1973年 稲垣良典『法的正義の理論』（書評） 法哲学年報（1972）
- 1979年 J・ヨンパルト『法の歴史性』（書評） 法哲学年報（1978）
- 1986年 V・A・メンチャカ  
「ハートと法の概念－批判的総合考察－」（共訳）  
『法の理論』6
- 1987年 V・A・メンチャカ「橋爪反論に対する再反論」（翻訳）  
『法の理論』7
- 1990年 A・d・ピエトロ  
「解釈という賢慮の仕事－ローマ法を中心として－」（共訳）  
『法の理論』10
- 1991年 現代法哲学とカント主義（エッセイ） 九大学報第1297号